

年金数理部会セミナー2008の開催について

テーマ：「北米にみる年金制度の安定性 ―ベビーブーマーの受給開始と年金財政―」

1. 趣旨

第2次世界大戦後に各国で起こったベビーブームによる出生児（ベビーブーマー）が60年余を経て年金受給を開始しているが、日本の公的年金同様数年分の積立金があり、ベビーブーマーが年金受給を開始した北米（アメリカ、カナダ）では、最近、年金財政に関する新しいレポートが公表された。

本セミナーでは、アメリカおよびカナダについて、年金財政の現状とベビーブーマーの年金受給開始後の財政見通しを概観し、新しいレポート等をもとに、社会保障制度である年金制度の安定性の観点から理解を深める。また、我が国の人口動態や歴史等との相違を踏まえつつ、北米の事情から日本の年金制度の安定性にどのような示唆が得られるか議論する。

2. 日時・場所等

日時：平成20年7月31日（木） 13：00～

場所：東京厚生年金会館 地下1階「ロイヤルホール」

3. 次第

- ・基調講演（約1時間50分）

坂本 純一 （株）野村総合研究所 主席研究員

- ・パネルディスカッション（約1時間20分）

座長	宮武 剛	年金数理部会委員
パネリスト	山崎 泰彦	年金数理部会長
	牛丸 聡	年金数理部会委員
	栗林 世	年金数理部会委員
	近藤 師昭	年金数理部会委員
	坂本 純一	（株）野村総合研究所 主席研究員